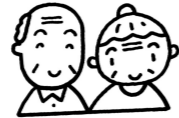
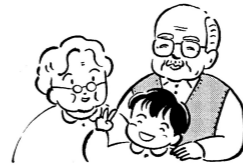


# ふれあい おふろの日 は つづけて



「広い銭湯で、手足を伸ばせる。本当に幸せ」  
「友人、知人も増え、生きがいを感じる」

裸の付き合いを通して、友人、知人も増えました。自転車で15分ほどかかりますが、楽しみにしています。

月2回、年24回も世代間のふれあいが持てる事業は他にはありません。なんとか残してほしい

広い銭湯で、タップリの軟水の湯船に使って手足を伸ばせば、生きがいを感じることができます。本当にありがたく思っています。

**ふれあい おふろの日**

**年間予算160万円、4千人が利用**

わずか

H4年からスタートした『ふれあいおふろの日』事業は、毎月12、22日を『ふろの日』とし、市が指定する銭湯（現在『江戸川湯』、『湯パーク南柏』）に、60歳以上、子どもが入浴する時、入浴料を市と事業者が負担しあい、世代間のふれあい促進と、市民相互の連帯意識を高め、福祉増進と公衆衛生向上に寄与することを目的としています。

年間予算はわずか160万円で実施され、4千人超の市民が楽しんでます。

みに行っている事業で、世代を超えてふれあえる場は他にないという声も聞かれています。

しかし現在、市では、来年度予算案に盛り込まず、中止する方向です。

ご一緒に署名を広げ、同世代・異世代がふれあう場、高齢者の生きがい・健康づくりの場を守りましょう。

**署名を広げ、高齢者の生きがい、ふれあいの場を残そう**



**日本共産党**

**流山民報**

2010年1月号外  
日本共産党流山市議団  
加4-1688、電話7157-6140

日本共産党の見解をお知らせします

請願書

一、『ふれあいおふろの日』事業をつづけて下さい。

キリトリ

日本共産党流山市委員会

氏名	流山市長 井崎 義治 殿	住所		電話番号	

お電話をいただければ  
受け取りにお伺いします

【電話・ファクス】  
7144-1753